

YAESU

Radio for Professionals

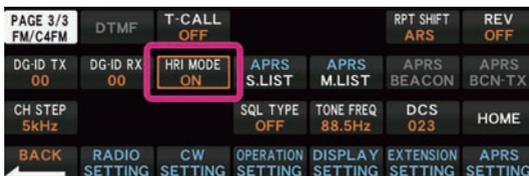
HF/50/144/430MHz ALL MODE TRANSCEIVER

FTX-1 series

取扱説明書（WIRES-X 編）

FTX-1 を HRI モードで動作させるときは以下の操作を行います

1. [FUNC] ツマミを長押しします
2. ファンクション画面“PAGE 3/3 FM/C4FM”を表示させます
3. 【HRI MODE】にタッチするか、[FUNC] ツマミをまわして【HRI MODE】を選択して [FUNC] ツマミを押します
HRI MODE が“ON”になります



HRI モード時の操作に関しては“WIRES-X 接続用キット HRI-200 取扱説明書”をご覧ください

なお、FTX-1 に HRI-200 を接続する必要はありません

製品の仕様・外観等は改良のため予告なく変更することがあります
この取扱説明書に記載の社名・商品名等は、各社の商標または登録商標です
この無線機を使用するには、総務省のアマチュア無線局の免許が必要です
また、アマチュア無線以外の通信には使用できません
この取扱説明書は「WIRES-X 機能」に関する説明が記載されています
基本的な操作に関する説明は、本製品に同梱の取扱説明書をお読みください

目次

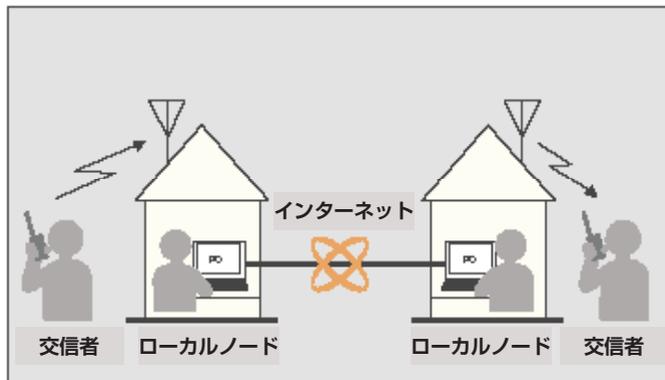
WIRES-X とは？	4
用語について	5
WIRES-X を使って遠方の無線局と交信する	8
ローカルノードを見つける	8
デジタルモードで接続する	9
ノード局に接続する	9
インターネット上のノード局やルームに接続する	11
交信する	13
WIRES-X の運用を終了する	13
デジタルモードでの便利な機能	14
プリセット周波数を使う	14
登録したノードやルームに接続する	15
相手局の位置を確認する	17
アナログノードに接続する	18
インターネット上のノードやルームに接続する	18
交信する	18
接続したアナログノードやルームを切断する	18
WIRES-X のニュース機能を使う(デジタルノードのみ)	19
メッセージを見る	19
ローカルノードのメッセージを見る	19
WIRES-X サーバー(INT NEWS)のメッセージを見る	21
インターネット上のノードやルームのメッセージを見る	22
画像を見る	23
ローカルノードの画像を見る	23
WIRES-X サーバー(INT NEWS)の画像を見る	24
インターネット上のノードやルームの画像を見る	26
保存したデータをあとから見る	26
保存したデータを削除する	26
音声メッセージを聞く	27
ローカルノードの緊急の音声メッセージを聞く	27
ローカルノードの通常の音声メッセージを聞く	28
WIRES-X サーバー(INT NEWS)の通常の音声メッセージを聞く	28
インターネット上のノードやルームの緊急の音声メッセージを聞く	28
インターネット上のノードやルームの通常の音声メッセージを聞く	28
メッセージや画像を送る	29
ローカルノードにメッセージを作成して送る	29
保存されているメッセージまたは画像をローカルノードに送る	31
インターネット上のノードやルームにメッセージを作成して送る	31
保存されているメッセージまたは画像をインターネット上のノードやルームに送る	31

音声メッセージを送る	32
ローカルノードに緊急の情報を送る.....	32
ローカルノードに通常の音声メッセージを送る.....	32
インターネット上のノードやルームに緊急の情報を送る.....	33
インターネット上のノードやルームに通常の音声メッセージを送る.....	33
WIRES-X セットアップメニュー	34
WIRES-X セットアップメニュー一覧	34
WIRES-X セットアップメニューを使う	34
WIRES-X の運用周波数の設定 (PRESET SEARCH).....	34
プリセット周波数の設定 (VHF PRESET FREQ/UHF PRESET FREQ)	34
ノード局に接続する WIRES-X DG-ID 番号の設定 (WIRES-X DG-ID).....	35
ノード/ルーム一覧の表示順の設定 (SEARCH SETUP).....	35
ノードモードの設定 (Node Mode)	36
その他の機能	37
ディスプレイの表示を消す	37

WIRES-X とは？

WIRES(Wide-coverage Internet Repeater Enhancement System)は、アマチュア無線のカバー範囲を広げるための、インターネットを利用した通信システムです。電波信号をインターネットで中継することで、電波の届かない遠距離の無線局同士をつなぎます。

WIRES では、パソコンを通してインターネットに接続した無線局(ローカルノード)が、通常の無線局の交信を仲介するアクセスポイントとなります。ローカルノード同士がインターネット上で接続していれば、通常の無線局はローカルノードに接続するだけで、世界中のアマチュア無線局と交信できます。



さらに、WIRES でデジタル通信に対応したのが WIRES-X です。従来のフォーンパッチ運用に加え、デジタル化されたテキストや画像、音声などのデータを送受信できます。

本機では、アナログ、デジタルを問わず、WIRES-X を使って交信圏外の無線局と交信できます。デジタル通信モードでは、ノード局をコールサインやキーワードで検索したり、メッセージや位置情報などをやりとりできます。

用語について

■ ノード

パソコンを通してインターネットに接続した中継専門の無線局。無線局との交信を仲介するアクセスポイントとなります。

● ローカルノード

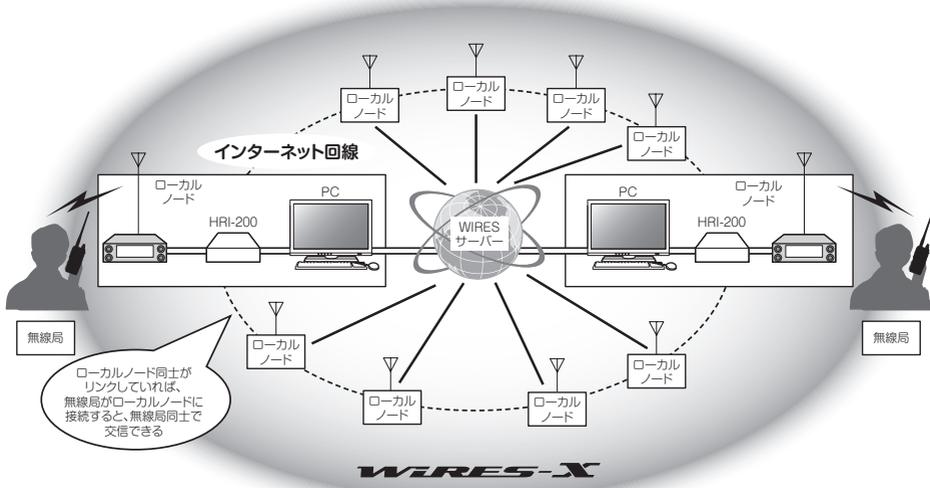
通常の無線局から電波が届く範囲にあるノードのこと。

● アナログノード

使用している無線機やレピーターが従来のFM方式のノードのこと。このノードではDTMF(Dual Tone Multi Frequencies)コードとアナログ音声の送受信だけを中継できます。

● デジタルノード

C4FM デジタルに対応した無線機やレピーターを使用しているノードのこと。このノードでは、音声での交信だけでなくテキストや画像などのデータをやり取りすることができます。また、DTMFコードとアナログ音声の送受信も中継できます。



■ WIRES-X ユーザー ID

当社が WIRES-X のノードに付与する識別名。1 つのノードに対して DTMF ID (5 桁の英数字) とユーザー ID (最大 10 桁の英数字列) の 2 種類が割り当てられます。接続したいノードの ID を、無線機から DTMF ID を送信したり、文字列でユーザー ID を検索したりして (デジタルのみ)、接続先を直接指定することができます。

● アクティブ ID リスト

当社のウェブサイトで公開している、WIRES-X 運用中のノードとルームの一覧。ID のほか、コールサインや運用周波数などの情報が掲載されています (ノードやルームオーナーの意向により一部公開していない場合があります)。

■ ルーム (Round QSO Room)

複数のノードが同時に接続できる、WIRES システム上のコミュニティスペース。音声での会話のほか、ノードからはパソコンでのチャットもできます。

● オープンルーム

接続できるノードを限定しないルームのこと。

● クローズドルーム

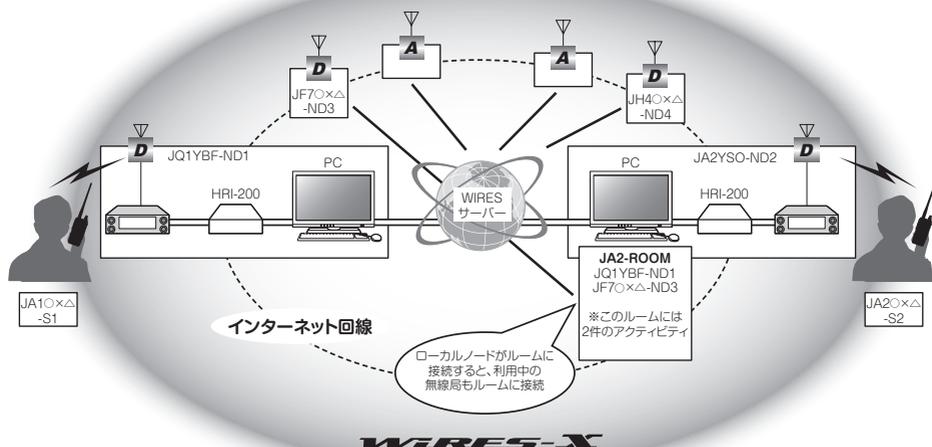
メンバー登録したノードだけが接続できるルームのこと。

● デジタルルーム

デジタルノードだけが接続できるルームのこと。

● アクティビティ

ルームに現在接続中のノード数のこと。



参考：図中の **D** はデジタルノードを示しています。また、**A** はアナログノードを示しています。

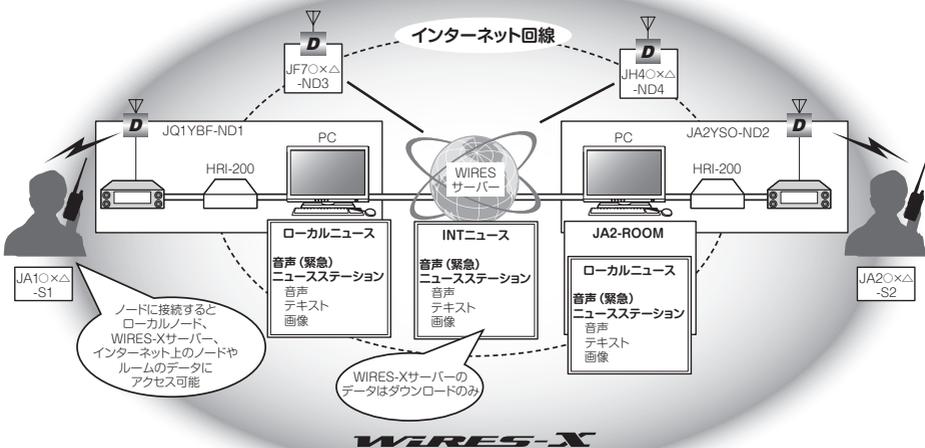
■ ニュース機能

ノードのパソコンにデジタルデータ(テキスト、画像、音声)を保管し、接続したデジタル無線機から利用できるようにした仕組み。

デジタル無線機は、ローカルノード(LOCAL NEWS)、接続先のノードやルームのデータ保管場所(ニュースステーション)にアクセスして、各種データの書き込み(アップロード)や読み出し(ダウンロード)ができます。

ノードやルームオーナーは、自局のデータをパソコンから読み書きできるほか、データの削除や名前・属性の変更などもできます。

なお、WIRES-X サーバー自身のニュースステーション(INT NEWS)もあり、当社が掲載するお知らせやデータを読み出すことができます。



■ プリセットサーチ機能

ローカルノードに接続するときを使う周波数を無線機に登録(プリセット)しておく、WIRES-X を起動したときに自動的にその周波数をスキャンする仕組み。

次のような使いかたができます。

- いつもアクセスするローカルノードの周波数をプリセットして、すばやく接続する
- 仲間のノード同士で申し合わせた周波数をプリセットして、移動先でも交信圏内にあるローカルノードにすばやく接続する

ノード側も、無線機を2台使ってプリセットサーチチャンネル(待ち受け専用)とボイスチャンネル(運用チャンネル)を使い分けることができます。

ローカルノードを見つける

本機で WIRES-X を使って交信するには、本機から電波の届く範囲に WIRES-X ノード局(ローカルノード)が開設されている必要があります。

WIRES-X ノード局の所在地や運用形態などの一覧を、当社のウェブサイトに掲載しています。

<https://www.yaesu.com/jp/wires-x/index.php>

まずはこの一覧で、自局が利用する近くのローカルノードと、交信したい相手局が利用するインターネット上のノードを探して、ノード名やノード番号、周波数、SQL 情報(DG-ID やトーン周波数)を控えておきます。

また、接続方法が異なりますので、ローカルノードがデジタル局かアナログ局か確認しておきます。

- **ローカルノードがデジタルノード局のとき**

本機からは G4FM デジタルモードで接続します。

(インターネット上のノードはデジタル、アナログどちらでも接続できます。)

- **ローカルノードがアナログノード局のとき**

本機からはアナログ FM モードで接続します。

(インターネット上のノードはアナログ、デジタルどちらでも接続できます。)

デジタルモードで接続する

ノード局に接続する

●WIRES-X による通信には以下の2つの接続方法があります。

(1)WIRES-X デジタルノード局を使って交信する

インターネット上のノード局またはルームに接続していることが分かっているノードや、自局パソコンで WIRES-X ソフトウェアの画面が直接操作できるような場合に便利な接続方法です。

ローカルの WIRES-X ノード局に設定されている DG-ID 番号を確認してください。WIRES-X ノード局に接続するためには、本機の DG-ID 番号を WIRES-X ノード局側で設定している DG-ID 番号にあわせませす。

※ WIRES-X ノード局の運用モードが C4FM デジタルであることを確認します。

1. 送受信の DG-ID 番号をノード局と同じ DG-ID 番号にあわせませす。

DG-ID 番号の設定方法は、FTX-1 取扱説明書の“DG-ID 機能を使って交信する”を参照してください。



この接続方法で設定する DG-ID 番号はファンクションメニューで設定する通常の DG-ID 番号です。セットアップメニューの“WIRES-X DG-ID”で設定する WIRES-X の DG-ID 番号ではありませんのでご注意ください。

2. ノード局の送受信周波数にあわせて送信します。

- ・ノード局から応答があれば、このまま交信することができます。
- ・ノード局から応答が無い場合は、ノード局がインターネット上のノード局またはルームに接続されていない可能性があります。その場合は、次項の“(2)接続先のノード局またはルームを変更して交信する”を参照してインターネット上のノード局またはルームに接続して交信します。

(2)接続先のノード局またはルームを変更して交信する

1. FUNC ツマミ長押し → [RADIO SETTING] → [WIRES-X] → [WIRES-X DG-ID] → FUNC ツマミ短押し

WIRES-X の DG-ID 設定画面が表示されます。

2. FUNC ツマミをまわすか、設定値の左右にある“<”“>”にタッチしてして接続したいノード局の DG-ID 番号を選択します。

AUTO : DG-ID 番号が“00”に設定されているオープンノード局に接続できます。

1 ~ 99 : 設定した DG-ID 番号に一致するノード局のみ接続できます。

工場出荷時設定は“**AUTO**”です。

3. FUNC ツマミを押すか、約 3 秒間放置すると設定が保存されます。

4. [BACK] キーを 3 回押すと、通常の運用画面に戻ります。

5. 周波数を接続するローカルノードの周波数にあわせませす。



6. [D X] キーを長押しします。

画面の上に“X”アイコンが点滅して、ローカルノードへの接続を開始します。



- ・“X”アイコンが点滅中に [D X] キーを押すと、再度ローカルノード局への接続を行います。
- ・ローカルノード局が見つからない場合は、約 20 秒後に接続を中止して、“X”アイコンが消えます。



7. ローカルノードに接続すると“X”アイコンが点滅から点灯に変わり、接続先表示にローカルノードの“ノード名”と“都市名”が表示されます。

ローカルノードや自局の以前の接続状況などによって、接続後の画面表示には以下の 4 つの場合があります。

① ローカルノードがインターネット上のノードやルームに未接続の場合(また、自局が以前にインターネット上のノードやルームに接続したことがない場合)の表示



② ローカルノードがインターネット上のノードやルームに未接続の場合(また、自局が以前にインターネット上のノードやルームに接続したことがある場合)の表示

PTT スイッチを短押しすると、点滅しているノードまたはルームに接続して、WIRES-X によるインターネット通信をすることができます。



③ ローカルノードがインターネット上のノードやルームに接続中の場合(また、自局が最後に接続したインターネット上のノードやルームと同じ接続先の場合)の表示

このまま PTT スイッチを押して WIRES-X によるインターネット通信をすることができます。



④ ローカルノードがインターネット上のノードやルームに接続中(自局が最後に接続したインターネット上のノードやルームと異なる接続先の場合)の表示

現在の接続先でよい場合は、このまま PTT スイッチを押して WIRES-X によるインターネット通信をすることができます。



FUNC ツマミまわして接続先表示に自局が以前に接続したインターネット上のノードまたはルームを点滅表示させます。

この状態で FUNC ツマミを押すか、または PTT スイッチを押すと、選択したインターネット上のノードやルームに接続してインターネット通信をすることができます。

インターネット上のノード局やルームに接続する

次のいずれかの方法で希望するノード局やルームに接続できます。

- 接続可能なノード局とルームの一覧から選んで接続する
- ノード名またはルーム名を指定して接続する
- 最後に接続したノードまたはルームに接続する
- 接続先のノードやルームの DTMF ID を指定して接続する

● ノードやルームの一覧から探す

1. ローカルノードが表示されている状態で**[ALL]**にタッチします。
 - 接続可能なノードとルームの一覧が表示されます。
 - ルームの行には右側にアクティビティ(ルームに接続しているノードの数)が表示されます。

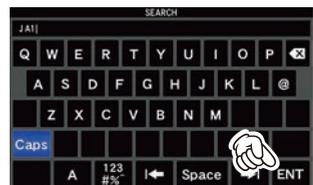


2. **FUNC** ツマミをまわしてノードまたはルームを選択して**FUNC** ツマミを押すと接続が始まります。
 - タッチして選ぶこともできます。



● ノード名やルーム名から探す

1. 画面左側にローカルノードが表示されている状態で、**[SEARCH]**にタッチします。
文字入力画面が表示されます。
2. ルーム名またはノード名の一部または全部を入力して**[ENT]**にタッチします。



部分的に名前が一致（前方一致）する接続先があると、一覧が表示されます。画面に”JA1” [012]のように検索した文字列と一致した件数が表示されます。

- 完全に名前が一致する接続先があると、すぐに接続が始まります。
- 検索結果は、ルーム、ノードの順に表示されます。
- ルームの行では右端にアクティビティ（ルームに接続中のノードの数）が表示されます。

3. FUNC ツマミをまわしてノードまたはルームを選択して FUNC ツマミを押すと接続が始まります。

- タッチして選ぶこともできます。
- 接続できなかった場合はエラーメッセージが表示されたあと、ノードとルームの一覧に戻ります。



●最後に接続したノードやルームに接続する

以前にインターネット上のノードやルームに接続したことがあると、画面左下に最後に接続したノードやルームが点滅表示されます。

点滅表示しているノード、またはルームにタッチするか PTT スイッチを押すと接続が始まります。



●ノードやルームの DTMF ID 番号を入力して接続する

1. WIRES-X 接続画面が表示されている時に [ENTER ID] にタッチします。

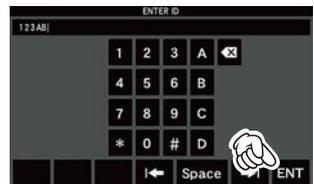
ID 入力画面が表示されます。



2. 画面のテンキーを押して ID (5桁) を入力します。

3. [ENT] にタッチします。

入力をやめる場合は [BACK] キーを押します。



交信する

1. 接続先が表示されている状態で PTT スイッチを押してマイクに向かって話します。
2. PTT スイッチを放すと受信状態に戻ります。



デジタルモードでニュース機能を使ってインターネット上のノードまたはルームのデータを閲覧しているときも、PTT スイッチを押して接続先と交信できます。

● 接続したノードやルームを切断する

1. [DISCONNECT] にタッチします。

WIRES-X の運用を終了する

[D X] キーを長押しすると、画面上部に表示されていた“X”アイコンが消えて通常画面に戻ります。

切断の操作をしなかった場合には、ローカルノードとインターネット上のノードまたはルームとの接続は継続されます。

デジタルモードでの便利な機能

プリセット周波数を使う

あらかじめチャンネル周波数を登録(プリセット)しておくことにより、簡単にローカルノードに接続できます。

仲間のノード同士でチャンネル周波数を申し合わせておけば、移動先でも簡単にローカルノードに接続できるので、グループでの運用などに便利です。

●プリセット周波数を登録する

1. FUNC ツマミ長押し → [RADIO SETTING] → [WIRES-X] → [VHF PRESET FREQ] (144MHz 帯の場合)または [UHF PRESET FREQ] (430MHz 帯の場合) → FUNC ツマミ短押し
2. FUNC ツマミをまわしてプリセット周波数を設定します。
工場出荷時設定：145.780MHz、438.880MHz
3. FUNC ツマミを押すか、約3秒間放置すると設定が保存されます。
4. [BACK] キーを3回押すと、通常の運用画面に戻ります。



●プリセット周波数を使ってローカルノードに接続する

1. 上記の“プリセット周波数を登録する”の手順にしたがって、プリセット周波数を設定します。
2. FUNC ツマミ長押し → [RADIO SETTING] → [WIRES-X] → [PRESET SEARCH] → FUNC ツマミ短押し。
3. “PRESET”を選択します。
4. FUNC ツマミを押すか、約3秒間放置すると設定が保存されます。
5. [BACK] キーを3回押すと、通常の運用画面に戻ります。
6. [D X] キーを長押しします。
周波数が自動でプリセット周波数に変わり、画面上部の中央に“X”アイコンが点滅表示します。
7. ローカルノードが見つかり“X”が点灯し、画面にノードの名前と都市名が表示されます。



●プリセット周波数を使うのをやめる

上記の手順3で“MANUAL”に設定します。



登録したノードやルームに接続する

インターネット上のノードやルームを、5つのカテゴリに分類してFTX-1に登録しておき、簡単に呼び出して接続することができます。それぞれのカテゴリにはノードやルームを20個まで登録できます。

●カテゴリにタグ(名前)を付ける

1. **[CATEGORY]** にタッチします。
2. **FUNC** ツマミをまわしてカテゴリ“C1”～“C5”のいずれかを選択します。
3. **[EDIT]** にタッチします
文字入力画面が表示されます。



4. 画面上のキーボードで、カテゴリ名を入力します。



5. **[ENT]** にタッチするとカテゴリ名を保存して前の画面に戻ります。
他のカテゴリの名前を設定する場合は、手順2～5を繰り返します。
6. **[BACK]** キーを押すと設定を終了して前の画面に戻ります。

●ノードやルームを登録する

1. 接続中に**[CATEGORY]** にタッチします。
カテゴリリストが表示されます。



2. **FUNC** ツマミをまわして登録したいカテゴリ**[C1]**～**[C5]**を選択します。
[C1]～**[C5]**にタッチして登録することもできます。
3. **[ADD]** にタッチします。
 - 選択したカテゴリに登録されます。



4. **[BACK]** キーを押して接続先ノードのメニューリスト画面に戻ります。

●登録したノードやルームに接続する

1. **[CATEGORY]** にタッチします。
カテゴリーリストが表示されます。



2. **FUNC** ツマミをまわしてカテゴリー**[C1]** ~ **[C5]** を選択して **FUNC** ツマミを押します。

- タッチして選ぶこともできます。
- 登録されているノードとルームの一覧が表示されます。
- ルームの行では右端にアクティビティ数(ルームに接続中のノードの数)が表示されます。



3. **FUNC** ツマミをまわしてノードまたはルームを選択して **FUNC** ツマミを押すと接続が始まります。

- タッチして選ぶこともできます。



FUNC ツマミ長押し → **[RADIO SETTING]** → **[WIRES-X]** → **[SEARCH SETUP]**で、一覧の表示順を“**ACTIVITY**”(アクティビティ順)または“**HISTORY**”(アクセス履歴順)から選べます。
工場出荷時設定：**HISTORY**



相手局の位置を確認する

通信中に相手局の信号に位置情報が含まれている場合は、WIRES-X 接続画面で相手局の位置情報を表示させて確認できます。

1. WIRES-X 接続画面で [DISP] キーを押します。

相手局のコールサイン、距離、方向、緯度、経度を表示します。



2. もう一度 [DISP] キーを押すと通常画面に戻ります。

アナログノードに接続する

接続したいノードがアナログ局の場合は、本機の DTMF 機能を使って接続します。DTMF 機能の詳しい使い方は、取扱説明書〈詳細編〉の“DTMF 機能”を参照してください。

インターネット上のノードやルームに接続する

1. 周波数を、ローカルノードの周波数にあわせてます。
2. [N/W(MODE)] キーを長押し → [FM] にタッチして“FM”モードに切り替えます。
3. [FUNC] ツマミを長押し → [DTMF] にタッチします。
DTMF CODE 一覧画面が表示されます。
4. PTT スイッチを押したまま、画面左側のテンキーを押して接続するノード、またはルームの DTMF ID(# と 5 桁の英数字)を送信します。
5. DTMF コードを送出した後、約 10 秒間受信します。
接続されると、音声聞こえるようになります。
アナログノード局に接続した場合は、接続先を表示する画面は表示されません。



本機は、最大 16 桁の DTMF コードを 9 件メモリーできます。よく使う接続先の DTMF ID(先頭に # が必要)をメモリーしておけば、FUNC ツマミ長押し → [DTMF] → 送りたい DTMF にタッチするだけで、DTMF コードを自動で送出できます。DTMF 機能について、詳しくは、取扱説明書〈詳細編〉の“DTMF 機能”を参照してください。

交信する

1. PTT スイッチを押して、マイクに向かって話します。
2. PTT スイッチを放すと、受信状態になります。

接続したアナログノードやルームを切断する

1. PTT スイッチを押したまま、画面左側のテンキーを押して“#99999”(DTMF の切断コマンド)を送信します。
2. 接続しているインターネット上のノード、またはルームが切断されます。

WIRES-X のニュース機能を使う(デジタルノードのみ)

デジタルモードで WIRES-X を使っているときは、メッセージ(テキスト)や画像のデータをやり取りしたり、音声メッセージの再生や録音ができます。

i ニュース機能を使うときは、本機に microSD メモリーカードをセットしておいてください。詳しくは取扱説明書の“microSD カードを使用する”を参照してください。

メッセージを見る

ローカルノードまたはインターネット上のノードやルームが送受信したメッセージ(テキスト)を見ることができます。

ローカルノードのメッセージを見る

1. ローカルノードに接続中に、ローカルノードにタッチします。



2. FUNC ツマミをまわしてメッセージを表示するローカルノードまたは自局が参加しているクローズドルームを選択して FUNC ツマミを押します。



- タッチして選ぶこともできます。
- データの取得に成功すると、ローカルノードのニュース機能のメニューリストが表示されます。

3. FUNC ツマミをまわして [NEWS STATION] を選択して FUNC ツマミを押します。



- タッチして選ぶこともできます。
- UPLOAD(送信)または DOWNLOAD(受信)の選択画面が表示されます。

4. FUNC ツマミをまわして [DOWNLOAD] を選択して FUNC ツマミを押します。



- タッチして選ぶこともできます。
- データの種類を選ぶ画面が表示されます。

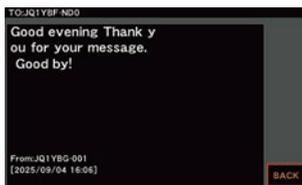
5. FUNC ツマミをまわして [MESSAGE] を選択して FUNC ツマミを押します。



- タッチして選ぶこともできます。
- メッセージデータの取得に成功すると、メッセージの一覧が新しい順に表示されます。

6. FUNC ツマミをまわして内容を表示するメッセージを選択して FUNC ツマミを押します。

- タッチして選ぶこともできます。
- メッセージデータが取り込まれ、メッセージの内容が表示されます。



7. [BACK]にタッチすると、データの一覧表示に戻ります。



各画面で [BACK] キーを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

WIRES-X サーバー(INT NEWS)のメッセージを見る

当社がWIRES-Xサーバーで提供しているメッセージ(テキスト)を見ることができます。

1. ローカルノードに接続中に、ローカルノードにタッチします。



2. FUNC ツマミをまわして LOCAL NEWS に表示されているローカルノード名を選択して FUNC ツマミを押します。

- タッチして選ぶこともできます。
- データの取得に成功すると、ローカルノードのニュース機能のメニューリストが表示されます。



3. FUNC ツマミをまわして [INT NEWS] を選択して FUNC ツマミを押します。

- タッチして選ぶこともできます。
- WIRES-X サーバーのメニューが表示されます。



4. FUNC ツマミをまわして [NEWS STATION] を選択して FUNC ツマミを押します。

- タッチして選ぶこともできます。
- データの種類を選ぶ画面が表示されます。



5. FUNC ツマミをまわして [MESSAGE] を選択して FUNC ツマミを押します。

- タッチして選ぶこともできます。
- メッセージデータの取得に成功すると、メッセージの一覧が新しい順に表示されます。



6. FUNC ツマミをまわして内容を表示するメッセージを選択して FUNC ツマミを押します。

- タッチして選ぶこともできます。
- メッセージデータが取り込まれ、メッセージの内容が表示されます。



7. [BACK]にタッチすると、データの一覧表示に戻ります。

インターネット上のノードやルームのメッセージを見る

1. FUNC ツマミをまわして接続先のノードまたはルームを選択して FUNC ツマミを押します。
 - タッチして選ぶこともできます。
 - インターネット上のノードまたはルームのメニューリストが表示されます。



2. FUNC ツマミをまわして [NEWS STATION] を選択して FUNC ツマミを押します。
 - タッチして選ぶこともできます。
 - UPLOAD(送信)または DOWNLOAD(受信)の選択画面が表示されます。



3. FUNC ツマミをまわして [DOWNLOAD] を選択して FUNC ツマミを押します。
 - タッチして選ぶこともできます。
 - データの種類を選ぶ画面が表示されます。



4. FUNC ツマミをまわして [MESSAGE] を選択して FUNC ツマミを押します。
 - タッチして選ぶこともできます。
 - メッセージデータの取得に成功すると、メッセージの一覧が表示されます。
 - 登録されているデータが新しい順に表示されます。



5. FUNC ツマミをまわして内容を表示するメッセージを選択して FUNC ツマミを押します。
 - タッチして選ぶこともできます。
 - メッセージデータが取り込まれ、メッセージの内容が表示されます。



6. [BACK] にタッチすると、データの一覧表示に戻ります。

画像を見る

ローカルノードまたはインターネット上のノードやルームが送受信した画像データを見て保存することができます。

ローカルノードの画像を見る

1. ローカルノードに接続中に、ローカルノードにタッチします。



2. FUNC ツマミをまわしてメッセージを表示するローカルノードまたは自局が参加しているクローズドルームを選択して FUNC ツマミを押します。

- タッチして選ぶこともできます。
- データの取得に成功すると、ローカルノードのニュース機能のメニューリストが表示されます。



3. FUNC ツマミをまわして [NEWS STATION] を選択して FUNC ツマミを押します。

- タッチして選ぶこともできます。
- UPLOAD(送信)または DOWNLOAD(受信)の選択画面が表示されます。



4. FUNC ツマミをまわして [DOWNLOAD] を選択して FUNC ツマミを押します。

- タッチして選ぶこともできます。
- データの種類を選ぶ画面が表示されます。



5. FUNC ツマミをまわして [PICT] を選択して FUNC ツマミを押します。

- タッチして選ぶこともできます。
- 画像データの一覧が新しい順に表示されます。



6. FUNC ツマミをまわして見る画像データを選択して FUNC ツマミを押します。

- タッチして選ぶこともできます。
- 画像データの受信が始まり“WAITING”が点滅表示されます。



- 画像データの受信が完了すると、取り込んだ画像が表示されます。



7. [BACK]にタッチすると、データの一覧表示に戻ります。

WIRES-X サーバー(INT NEWS)の画像を見る

当社が WIRES-X サーバーで提供している画像を見ることや保存することができます。

1. ローカルノードに接続中に、ローカルノードにタッチします。



2. FUNC ツマミをまわして LOCAL NEWS に表示されているローカルノード名を選択して FUNC ツマミを押します。

- タッチして選ぶこともできます。
- データの取得に成功すると、ローカルノードのニュース機能のメニューリストが表示されます。



3. FUNC ツマミをまわして [INT NEWS] を選択して FUNC ツマミを押します。

- タッチして選ぶこともできます。
- WIRES-X サーバーのメニューが表示されます。



4. FUNC ツマミをまわして [NEWS STATION] を選択して FUNC ツマミを押します。

- タッチして選ぶこともできます。
- データの種類を選ぶ画面が表示されます。



5. FUNC ツマミをまわして [PICT] を選択して FUNC ツマミを押します。

- タッチして選ぶこともできます。
- 画像データの一覧が新しい順に表示されます。



6. FUNC ツマミをまわして見る画像データを選択して FUNC ツマミを押します。

- タッチして選ぶこともできます。
- 画像データの受信が始まり“WAITING”が点滅表示されます。
- 画像データの受信が完了すると、取り込んだ画像が表示されます。



7. [BACK]にタッチすると、データの一覧表示に戻ります。

インターネット上のノードやルームの画像を見る

1. FUNC ツマミをまわして接続先のノードまたはルームを選択して FUNC ツマミを押します。

- タッチして選ぶこともできます。
- インターネット上のノードまたはルームのメニューリストが表示されます。



2. “ローカルノードの画像を見る”(23 ページ)の手順 3～6 に従って、画像データを取り込みます。



- 各画面で [BACK] キーを押すとひとつ前の画面に戻ります。
- カテゴリリストやデータの一覧を表示しているときでも、PTT スイッチを押して接続中のインターネット上のノードまたはルームを経由して音声による通信をすることができます。

保存したデータをあとから見る

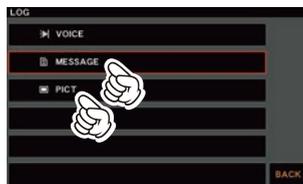
microSD カードに保存したデータは、あとから確認することができます。

1. 画面右下の [LOG] にタッチします。
LOG 画面が表示されます。



2. FUNC ツマミをまわして [MESSAGE] または [PICT] を選択して FUNC ツマミを押します。

- タッチして選ぶこともできます。
- データの一覧が表示されます。
- 保存されているデータが新しい順に表示されます。



3. FUNC ツマミをまわして内容を表示するデータを選択して FUNC ツマミを押します。

- タッチして選ぶこともできます。
- メッセージの内容、または画像が表示されます。

4. [BACK] キーを押すと、データの一覧に戻ります。

保存したデータを削除する

1. 上記の“保存したデータをあとから見る”の手順 1～3 に従って、メッセージの内容または画像を表示します。

2. [DELETE] にタッチします。
確認のメッセージが表示されます。

3. [OK] にタッチします。

データが削除されると“COMPLETED”と表示されます(画面にタッチすると“COMPLETED”の表示は消えます)。



音声メッセージを聞く

ローカルノードまたはインターネット上のノードやルームが送受信した音声のデータを、再生して聞くことができます。

音声データは次の2つのカテゴリーに分かれています。

EMERGENCY : 緊急メッセージ。ノードやルームでの設定により、情報が登録されてから2時間は5分間隔で接続中のノードやルームに強制配信されます。

NEWS STATION : 通常メッセージ。ノードやルームで削除しないかぎり、いつでも聞くことができます。



VOICE 音声データは microSD カードに保存することはできません。

ローカルノードの緊急の音声メッセージを聞く

1. ローカルノードに接続中に、ローカルノードにタッチします。



2. FUNC ツマミをまわしてメッセージを表示するローカルノードまたは自局が参加しているクローズドルームを選択して FUNC ツマミを押します。



- タッチして選ぶこともできます。
- データの取得に成功すると、ローカルノードのニュース機能のメニューリストが表示されます。

3. FUNC ツマミをまわして [EMERGENCY] を選択して FUNC ツマミを押します。



- タッチして選ぶこともできます。
- 登録されているデータが新しい順に表示されます。

4. FUNC ツマミをまわして再生する音声メッセージを選択して FUNC ツマミを押します。



- タッチして選ぶこともできます。
- 音声再生されます。

ローカルノードの通常の音声メッセージを聞く

1. “ローカルノードのメッセージを見る”(19 ページ)の手順 1～4 に従って、データの種類を選ぶ画面を表示します。
2. FUNC ツマミをまわして【VOICE】を選択して FUNC ツマミを押します。
 - タッチして選ぶこともできます。
 - データの一覧が表示されます。
 - 登録されているデータが新しい順に表示されます。
3. FUNC ツマミをまわして再生するメッセージを選択して FUNC ツマミを押します。
 - タッチして選ぶこともできます。
 - 音声再生されます。

WIRES-X サーバー(INT NEWS)の通常の音声メッセージを聞く

1. “WIRES-X サーバー(INT NEWS)のメッセージを見る”(21 ページ)の手順 1～4 に従って、データの種類を選ぶ画面を表示します。
2. FUNC ツマミをまわして【VOICE】を選択して FUNC ツマミを押します。
 - タッチして選ぶこともできます。
 - データの一覧が表示されます。
 - 登録されているデータが新しい順に表示されます。
3. FUNC ツマミをまわして再生するメッセージを選択して FUNC ツマミを押します。
 - タッチして選ぶこともできます。
 - 音声再生されます。

インターネット上のノードやルームの緊急の音声メッセージを聞く

1. FUNC ツマミをまわして接続先のノードまたはルームを選択して FUNC ツマミを押します。
 - タッチして選ぶこともできます。
 - インターネット上のノードまたはルームのメニューリストが表示されます。
2. FUNC ツマミをまわして【EMERGENCY】を選択して FUNC ツマミを押します。
 - タッチして選ぶこともできます。
 - 登録されているデータが新しい順に表示されます。
3. FUNC ツマミをまわして再生するメッセージを選択して FUNC ツマミを押します。
 - タッチして選ぶこともできます。
 - 音声再生されます。

インターネット上のノードやルームの通常の音声メッセージを聞く

1. FUNC ツマミをまわして接続先のノードまたはルームを選択して FUNC ツマミを押します。
 - タッチして選ぶこともできます。
 - インターネット上のノードまたはルームのメニューリストが表示されます。
2. “ローカルノードの通常の音声メッセージを聞く”(上記参照)の手順 2～3 に従って、メッセージを再生します。

メッセージや画像を送る

本機に挿入した microSD メモリーカードに保存されているメッセージ(テキスト)や画像を、ローカルノードまたはインターネット上のノードやルームに送ることができます。メッセージは、新たに入力して送ることもできます。



microSD メモリーカードについては、取扱説明書の“microSD カードを使用する”を参照してください。

ローカルノードにメッセージを作成して送る

1. ローカルノードに接続中に、ローカルノードにタッチします。



2. FUNC ツマミをまわしてメッセージを送るローカルノードを選択して FUNC ツマミを押します。

- タッチして選ぶこともできます。
- データの取得に成功すると、ローカルノードのニュース機能のメニューリストが表示されます。



3. FUNC ツマミをまわして [NEWS STATION] を選択して FUNC ツマミを押します。

- タッチして選ぶこともできます。
- UPLOAD(送信)または DOWNLOAD(受信)の選択画面が表示されます。



4. FUNC ツマミをまわして [UP LOAD] を選択して FUNC ツマミを押します。

- タッチして選ぶこともできます。
- データの種類を選ぶ画面が表示されます。



5. FUNC ツマミをまわして [MESSAGE] を選択して FUNC ツマミを押します。

- タッチして選ぶこともできます。
- メッセージの一覧が新しい順に表示されます。



6. **[NEW]**にタッチします。
メッセージ画面が表示されます。



7. **[EDIT]**にタッチします。



8. 画面上のキーボードで、メッセージ(最大 80 文字)を入力します。

文字の入力方法は、取扱説明書 <基本編> の“文字入力画面の操作”を参照してください。

9. メッセージの入力が終わったら**[ENT]**にタッチします。
メッセージ画面に戻り、入力したメッセージが表示されます。



10. **[UP LOAD]**にタッチします。

- メッセージの送信が始まり、正常に送信されると“COMPLETED”と表示されます(画面にタッチすると“COMPLETED”の表示は消えます)。

保存されているメッセージまたは画像をローカルノードに送る

1. “ローカルノードにメッセージを作成して送る”(29 ページ)の手順 1～4 に従って、データの種類を選ぶ画面を表示します。
2. **FUNC** ツマミをまわして **[MESSAGE]** または **[PICT]** を選択して **FUNC** ツマミを押します。
 - タッチして選ぶこともできます。
 - データの一覧が表示されます。
3. **FUNC** ツマミをまわして送信するメッセージまたは画像を選択して **FUNC** ツマミを押します。
 - タッチして選ぶこともできます。
 - 選択したメッセージまたは画像が表示されます。
4. メッセージの場合は **[FWD]**、画像の場合は **[UP LOAD]** にタッチします。

インターネット上のノードやルームにメッセージを作成して送る

1. **FUNC** ツマミをまわして接続先のノードまたはルームを選択して **FUNC** ツマミを押します。
 - タッチして選ぶこともできます。
 - インターネット上のノードまたはルームのメニューリストが表示されます。
2. **FUNC** ツマミをまわして **[NEWS STATION]** を選択して **FUNC** ツマミを押します。
 - タッチして選ぶこともできます。
 - **UPLOAD**(送信)または **DOWNLOAD**(受信)を選ぶ画面が表示されます。
3. **FUNC** ツマミをまわして **[UP LOAD]** を選択して **FUNC** ツマミを押します。
 - タッチして選ぶこともできます。
 - データの種類を選ぶ画面が表示されます。
4. “ローカルノードにメッセージを作成して送る”(29 ページ)の手順 5～10 に従って、メッセージを作成して送ります。

保存されているメッセージまたは画像をインターネット上のノードやルームに送る

1. 上記の“インターネット上のノードやルームにメッセージを作成して送る”の手順 1～3 に従って、データの種類を選ぶ画面を表示します。
2. 上記の“保存されているメッセージまたは画像をローカルノードに送る”(31 ページ)の手順 2～4 に従って、データを選択して送ります。

音声メッセージを送る

マイクロホンに向かって話した音声を、データとしてローカルノードまたはインターネット上のノードやルームに送ることができます。

音声データは次の2つのカテゴリーに分かれています。

EMERGENCY : 緊急メッセージ。ノードやルームでの設定により、情報が登録されてから2時間は5分間隔で接続中のノードやルームに強制配信されます。

NEWS STATION : 通常メッセージ。ノードやルームで削除しないかぎり、いつでも聞くことができます。

ローカルノードに緊急の情報を送る

1. “ローカルノードのメッセージを見る”(19ページ)の手順1~2に従って、ローカルノードのメニューリストを表示します。
2. **FUNC** ツマミをまわして [**EMERGENCY**] を選択します。
 - タッチして選ぶこともできます。
3. **PTT** スイッチを押すと、ピーブ音が鳴って“**VOICE UPLOAD**”と確認画面が表示されます。緊急の情報を送る場合は、そのまま **PTT** スイッチを押し続けると、ピーブ音が3回鳴った後に送信状態になりますのでマイクに向かってメッセージを話します。録音可能な時間は最大1分間です。1分を越えた部分の音声は保存されません。
4. 話が終わったら **PTT** スイッチを放します。
メッセージが受け付けられると“**COMPLETED**”と表示され、ローカルノードのメニューリストに戻ります。

ローカルノードに通常の音声メッセージを送る

1. “ローカルノードのメッセージを見る”(19ページ)の手順1~3に従って、**UPLOAD**(送信)または **DOWNLOAD**(受信)を選ぶ画面を表示します。
2. **FUNC** ツマミをまわして [**UP LOAD**] を選択して **FUNC** ツマミを押します。
 - タッチして選ぶこともできます。
 - データの種類を選ぶ画面が表示されます。
3. **FUNC** ツマミをまわして [**VOICE**] を選択します。
 - タッチして選ぶこともできます。
4. **PTT** スイッチを押しながら、マイクに向かってメッセージを話します。
録音可能な時間は最大1分間です。1分を越えた部分の音声は保存されません。
5. 話が終わったら **PTT** スイッチを放します。
メッセージが正常に送信されると“**COMPLETED**”と表示され、データの種類を選択する画面に戻ります。

インターネット上のノードやルームに緊急の情報を送る

1. **FUNC** ツマミをまわして接続先のノードまたはルームを選択して **FUNC** ツマミを押します。
 - タッチして選ぶこともできます。
 - インターネット上のノードまたはルームのメニューリストが表示されます。
2. “ローカルノードに緊急の情報を送る”(32 ページ)の手順 2～4 に従って、メッセージを送ります。

インターネット上のノードやルームに通常の音声メッセージを送る

1. “インターネット上のノードやルームにメッセージを作成して送る”(31 ページ)の手順 1～2 に従って、UPLOAD(送信)または DOWNLOAD(受信)を選ぶ画面を表示します。
2. “ローカルノードに通常の音声メッセージを送る”(32 ページ)の手順 2～5 に従って、メッセージを送ります。

WIRES-X セットアップメニュー

WIRES-X セットアップメニュー一覧

メニュー / 項目	機能説明	選択できる項目 (太字は工場出荷時設定)
PRESET SEARCH	WIRES-X の運用周波数の設定	MANUAL / PRESET
VHF PRESET FREQ	144MHz 帯のプリセット周波数の設定	144.000 ~ 146.000 (145.780)
UHF PRESET FREQ	430MHz 帯のプリセット周波数の設定	430.000 ~ 440.000 (438.880)
WIRES-X DG-ID	WIRES-X モードでローカルノードに接続する DG-ID 設定	1 ~ 99 / AUTO
SEARCH SETUP	ノード / ルーム一覧の表示順の設定	HISTORY / ACTIVITY
Node Mode	WIRES-X の運用モード設定	AP RADIO / AP PC / DIRECT

WIRES-X セットアップメニューを使う

WIRES-X の運用周波数の設定 (PRESET SEARCH)

[D X] キーを押してローカルノードを探すときに、現在設定している周波数を使用するか、または、あらかじめ登録(プリセット)した周波数を使用するかを設定できます。詳しい操作については、“プリセット周波数を使う”(14 ページ)を参照してください。

プリセット周波数の設定 (VHF PRESET FREQ/UHF PRESET FREQ)

[D X] キーを押してローカルノードを探すときに使用する周波数を、あらかじめ登録(プリセット)しておくことができます。

詳しい操作については、“プリセット周波数を登録する”(14 ページ)を参照してください。

ノード局に接続する WIRES-X DG-ID 番号の設定 (WIRES-X DG-ID)

[D X] キーを押してローカルノード局に接続する時に使用する、WIRES-X の DG-ID 番号を設定します。

1. FUNC ツマミ長押し → [RADIO SETTING] → [WIRES-X] → [WIRES-X DG-ID] → FUNC ツマミ短押し

WIRES-X の DG-ID 設定画面が表示されます。

2. FUNC ツマミをまわすか、設定値の左右にある“<” “>” にタッチして接続したいノード局の DG-ID 番号を選択します。

AUTO : DG-ID 番号が“00”に設定されているオープンノード局に接続できます。

1 ~ 99 : 設定した DG-ID 番号に一致するノード局のみ接続できます。

工場出荷時設定は“**AUTO**”です。



3. FUNC ツマミを押すか、約 3 秒間放置すると設定が保存されます。
4. [BACK] キーを 3 回押すと、通常の運用画面に戻ります。

ノード/ルーム一覧の表示順の設定 (SEARCH SETUP)

カテゴリーの表示中にインターネット上の接続先をソートする条件を設定します。

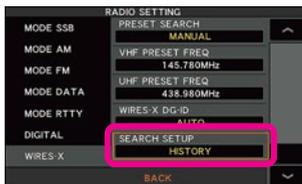
1. FUNC ツマミ長押し → [RADIO SETTING] → [WIRES-X] → [SEARCH SETUP] → FUNC ツマミ短押し

2. FUNC ツマミをまわして“**HISTORY**”または“**ACTIVITY**”を選択します。

HISTORY : 自局が最近接続した接続先から順に表示します。

ACTIVITY : 接続してるノードが多いルームから順に表示します。ノードはルームの後に表示されます。

工場出荷時設定は“**HISTORY**”です。



3. FUNC ツマミを押すか、約 3 秒間放置すると設定が保存されます。
4. [BACK] キーを 3 回押すと、通常の運用画面に戻ります。

ノードモードの設定 (Node Mode)

WIRES-X の運用モードを設定します。

1. FUNC ツマミ長押し → [RADIO SETTING] → [WIRES-X] → [Node Mode] → FUNC ツマミ短押し

2. FUNC ツマミをまわして運用モードを選択します。

AP RADIO : 周波数などの各種設定や操作を FTX-1 で行って運用します。

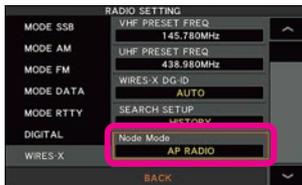
AP PC : 周波数などの各種設定をパソコンで行って運用します。

DIRECT : 周波数などの各種設定や操作を FTX-1 で行って運用します。電波の送受信は行いません。

工場出荷時設定は“AP RADIO”です。

3. FUNC ツマミを押すか、約 3 秒間放置すると設定が保存されます。

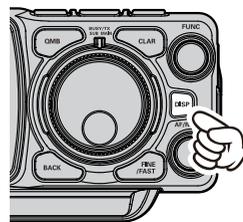
4. [BACK] キーを 3 回押すと、通常の運用画面に戻ります。



ディスプレイの表示を消す

WIRES-X 運用時に [DISP] キーを 1 秒以上押しと、ディスプレイの表示を消すことができます。

いずれかのキーまたはツマミを押すかツマミをまわすと、再度ディスプレイを表示します。



YAESU

Radio for Professionals

本製品または他の当社製品についてのお問い合わせは、お買い上げいただきました販売店または、当社カスタマーサポートをお願いいたします。

八重洲無線株式会社 カスタマーサポート

電話番号 0570-088013

受付時間 平日9:00～12:00、13:00～17:00

八重洲無線株式会社 〒140-0013 東京都品川区南大井6-26-3 大森ベルポートD-3F
